

令和4年度活動報告（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けた取組みや施策への提案を行い、県・市事業へ参画し成果が出ている。
また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

I・1 長崎県次世代情報産業クラスター協議会(敬称略)への参加（会員登録済み）

会長 中野一英(株)NDKCOM 代表取締役会長)、副会長 大神 吉史(大新技研(株)代表取締役) が就任。
ロボットやIoTに代表される第四次産業革命の技術については、社会への急速な普及が進んでいるが、県ではこの流れを的確に捉え、高度専門人材の育成や県内企業間の連携促進を目的とした「長崎県次世代情報産業クラスター協議会」が設立された(2018年(H30)-5-9)

(1)目的

県内のロボット、IoT、組込み関連産業の高度人材の育成や、これらの先端技術を提供する企業と活用する県内企業とのマッチング等によって、技術の活用を促進するとともに、事業拡大や新たなサービスの創出等につなげ、県外需要の獲得や生産性の向上、付加価値の向上等を図ることを目的とする。

(2)事業

協議会では、前項の目的を達成するため、長崎県が実施する次の事業に参画する。

- ・ロボット・IoT等の分野における高度専門人材の育成
- ・普及啓発セミナー、導入企業向け基礎講習会等の開催
- ・製品・サービス等の開発による事業化のためのマッチングと伴走型支援の実施
- ・開発実証に係る外部資金等の獲得支援及び補助金による支援

(3)会員

NISA 会員および、長崎県内製造業企業などが会員登録。オブザーバー登録 12 機関。会員登録数 209 社(2023-5-16 時点)、内、NISA 会員は 47 社が登録。

(4)主な活動項目(詳細は NISA-HP 「お知らせ欄」に掲載)

- 県・クラスター協議会からの情報をNISAホームページに掲載し、会員メールでもお知らせした。
- ・令和4年12月16日(金)開催の「協議会総会(於:ホテルニュー長崎)」へ出席した。
 - ・NISA会員の登録(無料)を促進中。

I・2 長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定(長崎県警察本部) 活動への参加（会員登録済み）

サイバー犯罪、サイバーテロの増加、インターネット上の違法・有害情報の氾濫、コンピュータウィルスの蔓延が社会問題となり、サイバー空間に対する県民の不安感も急速に高まっている中で、本協定は、社会全体で効果的なサイバーセキュリティ対策を推進することにより安全安心なサイバー空間の実現を目指すものである。

(1)目的

この協定は、協定機関の相互理解による高い信頼と協力関係に基づき安全安心なサイバー空間の実現を目指すことを目的とする。

(2)連携、協力の内容

協定機関は、前条の目的を達成するため、相互に連携、協力し、次の各号に掲げる事項を推進する。

- ①サイバー空間の脅威に関する情報の共有
- ②サイバー空間の脅威への対処に係る技術的支援
- ③サイバー空間の脅威に対処できる人材の育成
- ④サイバー空間の脅威に立ち向かう社会全体の意識の向上
- ⑤県警本部発行「サイバーセキュリティ通信」の HP 掲載と周知
- ⑥その他協定機関が必要と認めるサイバーセキュリティに関する事項

(3)協定参加機関(14 機関)

長崎県、長崎県警察、長崎県商工会議所連合会、長崎県商工会連合会、長崎県中小企業団体中央会、(公財)長崎県産業振興財団、西日本電信電話(株)、長崎支店、(株)ラック、トレンドマイクロ(株)、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、(一社)長崎県情報産業協会

(4)活動

県警本部発行「サイバーセキュリティ通信」を NISA-HP に掲載するとともにメールによる周知化を図った。

I・3 長崎県サイバーセキュリティ研究会 (H29 年 1 月 7 日設立)への参加 (会員登録済み)

(1)目的

長崎県内における情報関連産業の人材育成や会員相互の情報共有を目的とする。

(2)事業の内容

前記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①情報共有のための研究会の開催
- ② 情報セキュリティに関するセミナー・イベントの開催
- ③ 県内でのセキュリティコンテスト等の開催
- ④ 県外でのセキュリティコンテスト等へ出場する学生等の支援
- ⑤ その他、本会の目的の達成に必要な事業

(3)「長崎県サイバーセキュリティ研究会」参加機関

[会員] 扇精光ソリューションズ(株)、オフィスメーション(株)、(株)亀山電機、佐世保工業高等専門学校、(一社)長崎県情報産業協会、長崎県立大学、長崎総合科学大学、長崎大学、ネット・ウォーリアーズ、(株)ユースフル

[顧問] 元衆議議員 富岡 務

[オブザーバー] 長崎県情報政策課、長崎県学事振興課、長崎県新産業創造課

(4) 活動 (NISA参加)

| 開催日 | 場所 | 件名 | 議題 |
|------------------------|---------------------------|------------------------------------|---|
| 令和 4 年 11 月 18 日(金) | 長崎県立大学 本部棟 2F 特別会議室 | 令和 4 年度第一回長崎県サイバーセキュリティ研究会総会(第32回) | ① 令和3年度事業報告書および収支決算について ②令和 4 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ③ 本研究会のホームページの開設について |

I・4 NISA 情報セキュリティ部会

NISA 主催、県共催で中小企業のためのサイバーセキュリティセミナーを開催した。

| 開催日 | 場所 | 件名 | 議題・講師 |
|-----------------------|-------|--|--|
| 令和 4 年 7 月 11 日(月) | オンライン | ①「中小企業を取り巻く脅威の動向とサイバーセキュリティ対策」 ②「長崎県のサイバー犯罪の情勢について」 | ①IPAセキュリティセンター企画部 エキスパート 横山 尚人氏 ②長崎県警察本部サイバー犯罪対策課 課長補佐 岩下 大吾氏 |

I・5 IPA 第 18 回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」会長賞選定・授与

インターネットの安全利用への注意はさらに重要になっていると考えられることから、子どもたちがコンクール作品の制作を通して、インターネットの安全利用を意識できるよう、2022 年度 18 回目のコンクールが独立行政法人情報処理推進機構(IPA)主催で実施された。昨年同様に後援し、優秀賞(NISA 会長賞)を選定し表彰状を贈呈した。

【優秀賞 一般社団法人長崎県情報産業協会(NISA 会長賞)】

- ・標語部門「ネットでの根拠なき意見、信じるな」 川崎 優衣さん(長崎県立 長崎北陽台高等学校 1 年)
- ・ポスター部門「いいね、中毒になってない？」 横山 真聖さん(長崎県立諫早商業高等学校 3 年)
- ・4コマ漫画部門「ながらスマホ」 竹岡 美里さん(長崎県対馬市立 豆蔵 中学校 3 年)

I・6 令和4年度中小企業サイバーセキュリティ促進事業(地域SECURITY形成促進事業)

各地域で形成を進めてきた地域SECURITYの取組をさらに推進するため、地域間の情報共有や、共通課題の解決に向けた取組の検討・推進を行う為、SC3地域SECURITY形成促進WS(ワークショップ)へ参加した。

本事業は、当協会が2020(令和2)年に、経済産業省の事業をみずほ総研より再委託を受け、長崎県地域における「地域SECURITY形成促進事業」を受託し、セミナー開催、アンケート調査を実施した。

当協会の活動は、事業推進団体として経済産業省「地域SECURITYマップ」に掲載されており、継続活動中。

・第1回WS参加 2022年10月19日(水)(長崎県出席者:県立大加藤教授、長崎県警本部、NISA)

・第2回WS参加 2023年2月17日(金)参加。(福岡県合同庁舎 1階 大会議室 対面方式)

キーパーソン:NISA松尾隆宏理事(扇精光ソリューションズ(株)), NISA事務局

I・7 長崎県中小企業団体中央会関連

令和4年度中小企業景況調査報告(第1四半期~第4四半期)を代表会員4社により実施した。

| | |
|--------------------|--------------------|
| 第1四半期(R04年04~06月期) | 第2四半期(R04年07~09月期) |
| 第3四半期(R04年10~12月期) | 第4四半期(R05年01~03月期) |

II 交流事業

II・1 他団体・大学等との交流事業(敬称略)

(1) 第42回 全情連大会「ANIA京都大会」

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(略称:ANIA)では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催している。

2022年度は京都大会がリアルで開催された。2023年度は、福岡大会が予定されている。

・(2017年)平成29年度 第39回 長崎大会(ホテルニュー長崎)

・(2018年)平成30年度 第40回 青森大会(ホテル青森)

・(2019年)令和元年度 第41回 北海道(札幌)大会(札幌グランドホテル)

・(2020年)令和2年度 第42回 山梨大会(コロナウイルス対策の為、開催延期) → 開催中止

・(2021年)令和3年度 第42回 京都大会(オンライン講演会、コロナ対策でWEB開催)

・(2022年)令和4年度 第43回 京都大会、リアルで開催(NISAより5名参加)

・(2023年)令和5年度 第44回 福岡大会(予定)

(2) ANIA 新春講演会の産学官交流会(懇親会).....新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

(3) ANIA 理事会

| No. | 日時 | 場所 | 出席 | 議題・その他 |
|---------------------|-----------------------------|------------------------------|--|---|
| 第1回 | R04-4-27(水) 16:00~17:30 | 京都情報大学 院(オンライン会議 ZOOM) | 理事総数10名 監事総数2名 濱本会長(ANIA理事) 事務局長(オブザーバー) | ・2021年度事業報告書案及び収支報告書案について ・会費規程の改定(案)について ・政策提言の策定について ・2022年度定時総会について |
| 第2回 (総会、 講演会) | R04-7-7(木) 15:00~15:50 | 同上 | 理事総数9名 監事総数2名 濱本会長(ANIA理事) 事務局長(オブザーバー) | <総会> ・2021年度事業報告及び収支報告 ・2021年度事業計画及び収支予算 ・理事の選任 <理事会> ・副会長選任について |
| 第3回 | R04-11-17(木) 11:30~12:30 | 同上 | 理事8名、監事1名 会員・事務局11名 濱本会長(ANIA理事) 事務局長(オブザーバー) | ・次年度の全国大会の実施について ・日本IT団体連盟諮問委員会の立上について ・新春交歓会について ・第4回理事会の開催について ・共催名義依頼、後援名義申請について |

| | | | | |
|-----|---------------------------|------------------------|-----------------------------------|---|
| 第4回 | R05-2-9(木) 16:00~17:30 | ホテルニューオータニ東京 (芙蓉の間) | 理事8名、監事1名 濱本会長 事務局長(オブザーバー) | <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業計画及び予算案について ・定時総会及び講演会について ・2023年度第1回理事会について ・2023年度、2024年度役員の選任方法について ・第43回全情連大会の報告 ・共催名義依頼、後援名義申請について |
|-----|---------------------------|------------------------|-----------------------------------|---|

(4) ANIA 事務局長連絡会議 (敬称略) 事務局長 出席

| No. | 日時 | 場所 | 出席 | 議題 |
|-----|-----------------------------|-----------------------|--|--|
| 第1回 | R04-9-15(木) 13:30~14:30 | 京都情報大学院(オンライン会議 ZOOM) | ANIA 各事務局長 15名+ANIA 事務局2名 (出席:NISA 事務局長) | <ul style="list-style-type: none"> ・第43回全情連大会・ANIA 京都大会について ・政策提言について ・会員企業の宣伝ウェブサイトの開設について ・会員企業間における開発案件を共有するメーリングリストの運用について ・各協会からの近況報告ならび意見交換 |
| 第2回 | R04-11-17(木) 10:30~11:00 | ホテルグランピア 京都 竹の間 | ANIA 各事務局長 13名+ANIA 事務局1名 (出席:NISA 事務局長) | <ul style="list-style-type: none"> ・各協会の近況報告と意見交換 |
| 第3回 | R05-2-10(金) 10:00~11:00 | 八重洲倶楽部(オンライン会議 ZOOM) | ANIA 各事務局長 14名+ANIA 事務局2名 (出席:NISA 事務局長) | <ul style="list-style-type: none"> ・2023(令和5)年度 定時総会について ・2023(令和5)年度 第1回理事会について ・企業見学会について ・2023(令和5)年度の事務局会議開催日程について ・各協会からの近況報告 |

II・2 長崎県工業技術センターとの意見交換会(研究キャラバン)

県工業技術センターの研究成果の説明、また技術交流の強化の為、意見交換会を開催した。

(1) 日時: R04-12-22(木) 16:00~17:15

(2) 場所: 出島交流会館 9階 展示交流室(長崎市出島町2-11)

(3) 次第(敬称略): [会場出席+WEB 出席]

①挨拶: NISA 会長 濱本 浩邦、工業技術センター 所長 橋本 亮一

②工業技術センターの概要説明: 工業技術センター所長 橋本 亮一

③導入設備や研究事例の紹介 : 工業技術センター 基盤技術部 部長 大脇 博樹

・新規導入設備の紹介

・電子情報関係の研究事例紹介

④意見交換会(敬称略): (NISA 役員、会員との意見交換)

・工業技術センター(橋本 亮一所長、兵頭 竜二次長、基盤技術部部長 兼 電子情報科長 大脇 博樹、研究企画課課長 兼 機械システム科長 田口 喜祥、主任研究員 久保田 慎一)

・長崎大学1名(産学官連携推進室室長 竹下 哲史准教授)

・県産業振興財団(産学官連携 コーディネーター 伊藤 英樹)

II・3 通常総会・講演会・産学官交流会

(1) 第29回通常総会 R04-6-16(木) オンライン併用による開催とし、全会員へ議案書を配布した。

(1)-1. 通常総会 14:00~4:50

①出席会員数: 正会員出席 76社中、74社(会場25社、WEB19社、委任状30社)が出席

(出席率97.3%)、出席者半数以上で総会が成立した。全議案が承認された。

②議案

- 1)第1号議案 議事録署名人の選任の件
- 2)第2号議案 令和3年度活動報告並びに決算・監査報告承認の件
- 3)第3号議案 理事選任の件

③報告事項

- 1)第1号報告 事業計画及び収支予算の件
 - (1)-2. わが社の一押し発表(2社)
 - 詳細は下記、「Ⅱ-4. わが社の一押し発表」を参照。
 - (1)-3. 「製造業のDX/IoT化を実現するオープンプラットフォーム Edgecross(エッジクロス)のご紹介」
 - (1)-4. 特別講演
 - 1)演題:『地域企業のDXと「勝ちパターン」』～垣根を越えて景色を変える～
 - 2)講師:あまねキャリア(株) 代表取締役 CEO 沢渡 あまね氏
 - (1)-5. 産学官交流会 18:00～20:00
 - 1)参加者:57名(会員42名、会員外15名)
- (2)新春講演会 R05-1-26(木) 16:30～17:30 Hセントヒル長崎 3F「紫陽花」
 - (2)-1. わが社の一押し発表(3社)
 - 詳細は下記、「Ⅱ-4. わが社の一押し発表」を参照。
 - (2)-2. 特別講演
 - 1)演題 :我々を取り巻く環境変化について～Web 3.0、キャリア自律、サステナビリティ経営など～
 - 2)講師 :株式会社 CAC Holdings 特別顧問 島田 俊夫氏
 - (2)-3. 産学官交流会 18:00～20:00
 - 1)参加者:77名(会員54名、会員外23名)

Ⅱ・4 我が社の一押し発表

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、下記の通り、2回/年開催した。

| | | | |
|------------------------------|---|-----|---|
| 通常総会時 R04-6-16(木) | ① | 会員 | シャイン(株) |
| | | テーマ | AI-OCRの導入だけでは解決困難！ 脱紙業務の仕組みで企業のデジタル化を支援するデジパス |
| | | 発表者 | 代表取締役 小河原 茂氏 |
| | ② | 会員 | オーシャンソリューションテクノロジー(株) |
| | | テーマ | 漁業×AI×衛星データ 持続可能な未来のために |
| | | 発表者 | 代表取締役 水上 陽介氏 |
| 新春産学官 交流会時 R05-1-26(木) | ① | 会員 | (株)イシマル |
| | | テーマ | 快適・集中・交流・愛着・健康 ～日経ニューオフィス賞受賞の mo#Re OFFICE のご紹介～ |
| | | 発表者 | SC事業部 福島 健一氏 |
| | ② | 会員 | DX有明支縁校 |
| | | テーマ | 社会問題を解決できるIT化を目指して |
| | | 発表者 | 理事長 草野 紀視子氏 |
| | ③ | 会員 | (株)シーエーシー |
| | | テーマ | 人を察し、活かし、健やかにするAI・IoT活用によるDX推進 ～心 sensor シリーズのご紹介～ |
| | | 発表者 | 取締役兼 業務担当執行役員 鈴木 貴博氏 |

Ⅱ・5 ビジネスコラボ事業

会員相互間の懇親を図り、ビジネスのコラボレーションが進むことを目的として下記の通り開催した。

- (1) R04- 6-16(木) 18:00～20:00 ≪ホテルセントヒル長崎 妙見の間≫ 参加者:57名
- (2) R04- 7-21(木) 18:00～20:00 ≪いけ洲博多屋≫ 参加者:10名
- (3) R04-10-20(木) 18:00～20:00 ≪のさ庵≫ 参加者:11名
- (4) R04-12-22(木) 18:00～20:00 ≪はくしか銅座店≫ 参加者:14名
- (5) R05- 1-26(木) 18:00～20:00 ≪ホテルセントヒル長崎 妙見の間≫ 参加者:77名

Ⅲ 研修事業

Ⅲ・1 研修事業(長崎県後援)

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で就業者研修ができなくなり、長崎県のご支援により、平成20年度(2008年度)に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得て人材育成の一端を担うことができた。

令和4年度は、コロナ禍の影響が残る中、22講座中、申込みが4名以下であった3講座を中止し、19講座を開催した。年間受講者数は合計117名であり、1講座当たりの平均は6.2名であった。

本事業は、研修技術委員会各位のご尽力と会員の皆様のご理解、ご協力によって運営することができた。

| 2022年度 NISA-IT 技術研修(受講実績) | | | | | | | | |
|---------------------------------|-----|-------------|---------------------------------------|-----------|-----|-----|-----|--|
| No. | 実施月 | 開催日 | 研修科目名・講座名 | 会場 | 社数 | 人数 | 備考 | |
| 01a | 6月 | 6/22～6/24 | 仕事の段取り力養成講座 | N | 2 | 2 | 開催 | |
| 02s | 7月 | 7/6～7/8 | 失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力 | (N) | (2) | (2) | 中止 | |
| 03j | 7月 | 7/13～7/15 | JavaによるWebアプリケーション開発力養成トレーニング | N | 4 | 4 | 開催 | |
| 04a | 7月 | 7/23～7/29 | すぐに使える統計解析 ～IOT・ビッグデータにも活用！～ | N | 1 | 2 | 開催 | |
| 05j | 8月 | 8/3～8/5 | Webシステム構築の基礎 ～IIS/. NET/SQLServer～ | D | 7 | 11 | 開催 | |
| 06a | 8月 | 8/17～8/19 | データベース設計とデータモデリング | D | 6 | 8 | 開催 | |
| 07j | 8月 | 8/24～8/26 | ネットワークの基礎 | D | 5 | 5 | 開催 | |
| 08a | 9月 | 9/7～9/9 | WEB サイト構築における情報セキュリティ基礎 | D | 7 | 8 | 開催 | |
| 09a | 9月 | 9/28～9/30 | エンジニアのスキルを徹底活用するための書き方・話し方 | D | 4 | 6 | 開催 | |
| 10s | 10月 | 10/5～10/7 | ルータを中心に学ぶネットワーク基礎とセキュリティ | I | 5 | 7 | 開催 | |
| 11s | 10月 | 10/26～10/28 | 信頼される SE に求められる問題解決力 | D | 3 | 5 | 開催 | |
| 12s | 11月 | 11/9～11/11 | IT 技術者のためのコミュニケーション研修 | I | 4 | 7 | 開催 | |
| 13s | 11月 | 11/16～11/18 | ファイアウォールで学ぶネットワークセキュリティ | I | 2 | 5 | 開催 | |
| 14j | 12月 | 11/30～12/2 | ネットワークの基礎ステップアップ運用編～初歩から学ぶ、通信解析&ログ監視～ | I | 4 | 4 | 開催 | |
| 15s | 12月 | 12/7～12/9 | IT 技術者のためのリーダーシップ | (N) | (2) | (3) | 中止 | |
| 16a | 12月 | 12/14～12/16 | エンジニアの対人対応力強化ビジネスコミュニケーション | D | 5 | 9 | 開催 | |
| 17a | 1月 | 1/11～1/13 | ソフトウェア開発のためのモデリングと UI 設計 | D | 4 | 5 | 開催 | |
| 18a | 1月 | 1/25～1/27 | ケースに学ぶ IT プロジェクトにおけるリスクマネジメント | D | 2 | 4 | 開催 | |
| 19s | 2月 | 2/1～2/3 | IT 技術者のためのドキュメンテーション研修 | D | 4 | 10 | 開催 | |
| 20j | 2月 | 2/8～2/10 | 基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門 | (N) | (3) | (3) | 中止 | |
| 21a | 3月 | 3/1～3/3 | ケースに学ぶ IT プロジェクトにおける品質マネジメント | D | 3 | 7 | 開催 | |
| 22a | 3月 | 3/15～3/17 | プロジェクトチームの現場力向上～プロジェクトのファシリテーション～ | D | 3 | 8 | 開催 | |
| 会場: N (NISA)、D (出島)、I (石井会計事務所) | | | | 合計(中止分除く) | | | 117 | |

Ⅲ・2 JISA 補助金による研修(「講演セミナー事業」)

JISA の補助金「地域高度化事業(研修)」を申請し、下記の無料講座を実施した。

(1)IoT 実践講座「人工知能入門講座(IoT デバイスでの画像認識)」

日 時:R05-3-9(木)・10(金)

会 場:出島交流会館

講 師:NPO 法人九州組込みソフトウェアコンソーシアム 甘田 哲久氏

受講申込数:5名【会員4名、会員外1名(日本電気協会九州支部)】

Ⅲ・3 新入社員向け IT 技術者研修を実施(「研修事業」)(敬称略)

(株)エンベックスエデュケーションとタイアップし、厚労省「人材開発支援助成金(特定認定実習併用職業訓練コース)」を適用して2022(R04)年度の新入社員研修を長崎と佐世保で実施した。助成金制度の活用により、本研修の費用負担を軽減でき、IT 技術、ヒューマンスキル、社会人マナーの習得により人材育成を図った。

| 項目 | 内 容 |
|-----|--|
| 講 座 | C#.NET エンジニア養成コース |
| 期 間 | 長崎会場 :2022/4/6(火)~6/2(木)(38日間) 佐世保会場:2022/4/5(火)~6/1(木)(38日間) |
| 会 場 | 長崎会場 :ポナールビル(4階 404-1号室) 佐世保会場:交通会館(2階会議室) |
| 講 師 | 長崎会場 :人材育成本部 飯室 明夫氏 佐世保会場:人材育成本部 井草 拓雄、清水 寛一(emb) |
| 受講者 | 長崎会場 :4社6名 佐世保会場:2社7名 合計6社13名 |

Ⅲ・4 iCD(アイ コンピテンシ ディクショナリ)活動:(中小企業向け IT スキル標準、一般社団法人 iCD 協会)

「i コンピテンシ ディクショナリ」(以下、iCD)は、企業において IT を利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支える IT 人材の能力や素養(スキル)を「タスクディクショナリ」、「スキルディクショナリ」として体系化したもので、企業は経営戦略などの目的に応じた人材育成に利用することができる。本システムの活用を通じて、人材育成戦略の立案(Plan)、育成施策の実行(Do)、自組織のリソース状況の把握(Check)、目標の再設定(Act)といった組織における人材育成の PDCA サイクルを回す活動の一助となることが期待される。H26、H27年に「i CD ワークショップ」を長崎で開催し、会員6社(オフィスメーション(株)、(株)NDKCOM、不動技研工業(株)、(株)イシマル、NBC 情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株))が参加した。その後の活動を通して i CD 活用企業認定では、企業での iCD の活用レベルや成果の大きさに応じた認証レベルの Silver Plus 3 社、Silver 3 社となった。NISA は、iCD 協会の賛助会員(団体認証)として登録。

なお、推進母体 IPA から新たに設立された「(一社)iCD 協会(iCDA)」が普及・ワークショップ活動を実施した。

(1)活動を推進する為の情報交換会

令和3年度は、新型コロナ対策の為、オンライン(ZOOM)で「iCD ユーザー会」等が開催された。

iCD 協会が取り組んでいる施策や活動方針などを紹介。

| 情報交換会 | 開催日時 | 開催場所 |
|-----------------------|------------------------|---------|
| WEB 第1(28)回 iCD ユーザー会 | 2022-5-26 15:30~17:30 | オンライン開催 |
| WEB 第2(29)回 iCD ユーザー会 | 2022-7-20 15:30~17:30 | オンライン開催 |
| WEB 第3(30)回 iCD ユーザー会 | (中止) | (中止) |
| WEB 第4(31)回 iCD ユーザー会 | 2022-11-17 15:30~17:30 | オンライン開催 |
| WEB 第5(32)回 iCD ユーザー会 | 2023-1-25 15:30~17:30 | オンライン開催 |
| WEB 第6(33)回 iCD ユーザー会 | 2023-3-15 15:30~17:30 | オンライン開催 |

IV 人材高度化能力開発事業(「助成金受給支援事業」)

H16年度からキャリア形成促進事業を始め、H23年度から成長分野等人材育成支援事業(奨励金)、またH25年度には日本再生人材育成支援事業(奨励金)を実施したが、成長分野・日本再生(奨励金)制度はH25年度に終了した。H26年度から28年度は前制度を大きく改訂したキャリア形成促進事業を助成金受給支援事業として実施した。H29年度からは、前制度が大幅改訂され「人材開発支援助成金」となった。H31年度は改訂版を引続き適用し実施した。NISA

研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪であり、令和4年度研修の訓練計画書および支給申請書の提出を積極的に推奨し、書類提出の支援を行った。

事務費：「人材開発支援助成金：10%、ただし、認定実習併用職業訓練：1%」として実施。

※厚生労働省「人材開発支援助成金」制度の活用

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業 の将来を左右すると言われており、人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取り組んでおられることに敬意を表するとともに、NISA 事務局は助成金申請の支援を継続して行っている。なお、令和4年度の人材開発支援助成金は、特定訓練コース(35歳未満で入社5年以内の者に対する、若年者訓練・認定実習併用訓練等)と一般訓練コース(特定コース以外)に分かれ、それぞれの助成額・率が異なる。

また、生産性向上に係る要件として「特定訓練コース」&「一般訓練コース」共、訓練開始日の会計年度の前年度と比べ3年後に生産性が6%の伸びを満たした場合、訓練開始日が属する会計年度の前年度から3年後の会計年度の末日の翌日から起算して5か月以内に割り増し助成分のみ別途申請する必要がある。(令和5年度より新制度へ改定)

(1)人材開発支援助成金(厚生労働省)に係る計画届申請、支給申請のサポート

①計画届様式へ必須項目の記載

改訂に伴う申請様式等の変更があったため、NISA では訓練実施計画届様式に NISA 研修内容搭載してわかりやすくまとめ、また、作成時の注意点を労働局に問合せ・確認を行い、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。

②訓練実施計画届書のチェック支援(R04-4~)

- i) 人材開発支援助成金は、初回訓練計画届は研修・訓練開始の1か月前まで、以降新規の研修受講の際は、訓練開始1か月前までに、また訓練計画内容の変更(人数・受講者等)は訓練開始の前日までに「変更届」の提出が必要である。
- ii) 長崎労働局へ提出するが、「訓練計画実施届」であり認定ではない。
- iii) 保管必須書類として「事業内職業能力開発計画書」の作成要領書を作成し通知した。
- iv) 研修実施場所は当初は決定せず、受講者数・インターネット接続環境等研修内容により決定する。
このため決定次第、受講企業から研修場所を変更届としての提出が必要であったが、人材開発支援助成金に係る研修実施場所に関する委任状を事務局に提出いただき、研修毎に事務局で纏め長崎労働局へ研修実施場所を提出し、受講企業の負担軽減と申請漏れの防止を図っている。
- v) 「訓練実施計画届」「変更届」等共同チェックの支援を実施した。

③支給申請書のチェック支援等の事務費(支給決定額の10%、認定実習併用職業訓練は1%)

- i) 支給申請は「各訓練終了日の翌日から2か月以内」に申請書の提出が必須。
- ii) 共同チェックについては、年間を通して「各研修の終了から2か月以内」に実施した。支給申請時の共同チェックは、研修が終了次第順次実施した。

(2)留意点のメールによる配信と対面・電話相談等

V 情報収集提供事業(「情報提供事業」)

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を推進する。更に産業構造変革による生産性向上を行うには、IoTの取込みが欠かせない。

これらの実現のためには、ICT化、およびAI・IoTに関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組の情報をいち早く収集して広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。

その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報をHP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域のICT化の取組みや施策の提案等を行う。

(NISAのホームページを地域におけるICT関連ポータルサイト化とすべく推進)

(1)情報提供項目：2022年度掲載分(2022年4月1日~2023年3月31日)合計693件

- 1) 会員専用情報(会員・役員).....68件
- 2) 加入団体(ANIA・JISA)情報.....168件
- 3) 政府(総務省、経産省、厚労省)情報.....299件
- 4) 自治体(長崎県、長崎市、他)情報.....70件
- 5) 関連団体(中央会・工業会・他)情報.....12件
- 6) 研修、講座、セミナー情報.....60件

情報源として、一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、総務省・九州総合通信局、経済産業省・九州経済産業局、厚生労働省、長崎県・市、公益財団法人長崎県産業振興財団、長崎県工業技術センター、佐世保情報産業プラザ、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、等からの情報を NISA ホームページ「お知らせ欄」に掲示すると共に重要な情報は会員宛てにメール配信し周知を図った。(詳細は NISA ホームページ参照)

VI 講演・セミナー事業

ICT 化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取り組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有し、その情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

(1)事業

- ①開催回数：2～4 回/年
- ②案内方法：県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人の HP に掲載
- ③対象：会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)
- ④参加人数：40～80 名(WEB 参加を含む)

(2)実施内容(抜粋)

①総会特別講演会 R04-6-16(木) 16:20～17:30 H セントヒル長崎 2 階「妙見」

- i) 演題：『地域企業の DX と「勝ちパターン」』～垣根を越えて景色を変える～
- ii) 講師：あまねキャリア株式会社 代表取締役 CEO 沢渡 あまね様
- iii) 概要：テレワーク、ワーケーション、業務改善、DX イノベーションなどを立体的に繋げて 解決する仕事をしてい
ます。これまで 400 以上の組織改善を手掛けてきました。垣根を越えて、新たな勝ちパターンを生み出すため
に、「景色を変えれば組織は 変わる」を行動指針とした越境学習の取り組みなどについてご紹介します。
(1)組織改革 Lab(変革推進者が組織を越えて学び合うオンライン道場)、(2)育休スクラ(育休者同士が組
織を越えて学び合うオンラインスクール)、(3)ワーケーション(ダム際ワーキング) (4)中核都市間連携(行政や
企業が地域を越えて問題解決する場の創造)」
- iv) 聴講者：91 名(会場参加 50 名、オンライン参加 41 名)

②デジタルの日記念講演会・・・・R04-10-3(月) 15:00～17:10 西鉄グラント H 2階「フジール B」

福岡県情報サービス産業協会と共催して、福岡市で開催した。

- i) 演題：・演 題：「自動運転推進に係る国の取り組みについて」
講師：経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐 秋元 裕太氏
- ii) 演題：「進化し続ける自動車の今と未来」
講師：トヨタ自動車九州株式会社 次世代事業室主幹 植野 直亮氏

③新春特別講演会 R05-1-26(木) 16:30～17:30 H セントヒル長崎 3 階「紫陽花」

- i) 演題：「新年展望：我々を取り巻く環境変化について～Web 3.0、キャリア自律、サステナビリティ経営など～」
- ii) 講師：株式会社 CAC Holdings 特別顧問 長崎大学経済学部非常勤講師 島田 俊夫様
- iii) 概要：企業経営を取り巻く環境変化から、3 つのトピックについて紹介します。「Web 3」とは何か？を細部の
正確性よりも、多くの皆様が「腹に落ちた」という理解になることを目指してご説明します。「キャリア自律」
では、自らのキャリアアップを明確に意識している優秀な人材の活かし方を、そして、気候変動に代表さ
「サステナブル経営」については、サプライチェーン全体での取り組みが求められる事項であり、すべての
企業が意識すべき新時代に入ったことについてお話しします。新年ゆえ、肩の力を抜いて気楽に聞いて
いただけるように平易な内容に務めます。
- iv) 聴講者：108 名(会場参加 76 名、オンライン参加 32 名)

④中小企業のためのサイバーセキュリティセミナー R04-7-11(月) 15:00～17:00 H セントヒル長崎 2階(Web 開催)

- i) 演題 1:「中小企業を取り巻く脅威の動向とサイバーセキュリティ対策」
講師：IPA セキュリティセンター企画部エキスパート 横山 尚人氏
- ii) 演題 2:「長崎県のサイバー犯罪の情勢について」

講師：長崎県警察本部 生活安全部サイバー犯罪対策課サイバーセキュリティ対策係長 岩下大吾氏
iii)参加者：63名(会場参加8名、オンライン参加55名)

Ⅶ 令和4年度長崎県DX推進事業の受託とDX推進活動

(1) 令和4年度長崎県デジタル化推進活動支援補助金事業

- ①主 旨：県内中小企業におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の前段となるデジタル化を推進するため、県内で唯一の情報産業団体である情報産業協会の会員企業が、県内中小企業に対して、プッシュ型の支援を行い、IT導入補助金等の活用により、活動期間内にデジタル化投資(50万円以上)の実績を計上した案件について、NISA会員の活動に対して活動成果報酬として補助金(20万円/件)が交付される。
- ②活動期間：2022年9月5日～2023年2月28日
- ③完了報告：2023年3月10日(完了)
- ④活動成果：NISA会員13社より135件の申請があり、県「デジタル化推進活動支援補助金実施要項」に基づき審査の結果、100件が採択された。

(2) 令和4年度DX実践伴走支援業務委託事業

- ①主 旨：県内の製造業、サービス業等中小企業に対して、デジタル技術を活用して生産性向上や新たな付加価値の創出に繋がるDX相談窓口を設けて、DX推進計画の策定のための伴走支援を行い、DXに取り組む企業を増加させ、取り組みを加速化させる。
- ②活動期間：2022年9月20日～2023年3月15日
- ③完了報告：2023年3月15日(完了)
- ④活動成果：(一社)長崎県情報産業協会が受託し、(公財)ながさき地域政策研究所へ再委託を行い、十八親和銀行、(株)システック井上の4社にて、DX推進の伴走支援、相談窓口設置、セミナー開催等を実施した。

Ⅷ 理事会(役員会)「主な項目を下記に記す」(敬称略)

(1) 第1回 理事会(役員会) 2022-4-21(木) 15:30～17:00 NISA研修室(WEB併用)

・出席理事・監事：理事18名(会場2名、Web_16名)、監事1名(Web_1名)

【長崎県】産業労働部新産業創造課より4名出席(会場2名、WEB2名)され、
「令和4年度の長崎県の事業説明」を戴いた。

【議事】

- 1) 2022年度通常総会の講演テーマの検討
- 2) 2022年度通常総会「わが社の一押し」講演、発表企業の検討
- 3) 2022年度通常総会・講演会・産学官交流会 ご来賓招待者を審議
- 4) 令和4年度NISA役員(理事・監事・顧問)改選の公募について(任期満了に伴う役員改選)
- 5) 「NISA会員増強キャンペーン」活動について

(2) 第2回 理事会(役員会) 2022-5-26(木) 15:40～17:00 出島交流会館(WEB併用)

・出席理事・監事：理事19名(会場3名、Web_16名)、監事2名(Web_2名)

【議事】

- 1) 2022年度通常総会の講演テーマ・講師(発表者)について承認
- 2) 2022年度通常総会「わが社の一押し」講演の講師と演題を承認
- 3) 2022年度通常総会後の「講演会」ご来賓への案内書送付を承認
- 4) 2021年度決算報告を承認
- 5) NISA委員会「令和3年度活動報告」と「令和4年度事業方針と計画」を承認
- 6) 令和4年度NISA役員(理事・監事・顧問)改選の公募について(任期満了に伴う役員改選)
- 7) 令和4年度11月度「NISA第8回理事会」の開催日程変更について

(3) 第3回 理事会(役員会) 2022-6-16(木) 15:00～15:30 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

・出席理事・監事：理事13名(会場7名、Web_6名)、監事2名(会場2名)(WEB併用)

【議事】

- 1) 代表理事1名、副会長2名、各委員会の委員長6名の選任

- (4) 第4回 理事会(役員会) 2022-7-21(木) 16:00~17:00 アルカス SASEBO 会議室C
 ・出席理事・監事:理事 17名(会場 8名, Web_9名)、監事 2名(Web_2名)(WEB 併用)
【議事】
 1) 2022 年度 JISA 地域高度化事業に係る JISA 補助金申請を承認
 ①地域高度化事業:講演会・セミナー……2023 年 1 月 26 日に開催予定の「新春講演会」で計画
 ②地域高度化事業:研修……2023 年 3 月 9 日(木)・10 日(金)を計画
- (5) 第5回 理事会(役員会) 2021-8-25(木) 16:00~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
 ・出席理事・監事:理事 14名(会場 3名, Web_11名)、監事 2名(Web_2名)
【議事】
 1) 2021 年度 JISA 地域高度化事業の JISA-NISA 共催研修テーマとして「IoT 実践講座「人工知能入門講座」(IoT デバイスでの画像認識)」とすることを承認。
 2) 長崎新聞とのクリッピング契約を承認。
 3) 「DX 有明支縁校」【草野 紀視子(くさの きみこ)代表の新規加入を承認
- (6) 第6回 理事会(役員会) 2022-9-22(木) 16:00~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
 ・出席理事・監事:理事 17名(会場 3名, Web_14名)、監事 1名(Web_1名)
【議事】
 1) 「令和 4 年度 長崎県デジタル化推進活動支援事業」、及びNISAの DX 導入支援活動について
 2) 「Q-bic ソリューションズ(株)」の新規入会を承認
- (7) 第7回 理事会(役員会) 2022-10-20(木) 16:00~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
 ・出席理事・監事:理事 17名(会場 3名, Web_14名)、監事 2名(Web_2名)
【議事】
 1) 長崎工業技術センターとの意見交換会(研究キャラバン)の「次第」を承認
- (8) 第8回 理事会(役員会) 2022-11-24(木) 16:00~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
 ・出席理事・監事:理事 12名(Web_12名)、監事 2名(Web_2名)
【議題】
 1) 後援名義使用申請に対する承認。
 2) 「2022 年新春講演会・産学官交流会」の特別講演・講師を(株)シーエーシーホールディングス 島田様とすることを承認
 3) 「わが社の一押し」の 2 件/3 件を(株)シーエーシー、DX 有明支縁校とすることを承認
- (9) 第 9 回 理事会(役員会) 2022-12-22(木) 15:00~17:15 出島交流会館 9F(WEB 併用)
 ・出席理事・監事:理事 17名(会場 4名, Web_13名)、監事 1名(Web_1名)
【議事】
 1) 「2022 年新春講演会・産学官交流会」の「わが社の一押し」の 3 件目講師を(株)イシマルとすることを承認
- (10) 第 10 理事会(役員会) 2023-1-26(水) 14:00~14:30 Hセントヒル長崎 2F「妙見」
 ・出席理事・監事:理事 17名(会場 4名, Web_13名)、監事 2名(会場 2名)(WEB 併用)
【議事】
 1) 2023 年度 NISA 研修の開催講座(25 講座)の開講について承認
 2) Standard Force(株)、及び(株) LAplastの新規加入を承認
 3) (株)出島リサーチ&コンサルツ(DRC)の事業に対する NISA 協力依頼を承認
 4) 「2022 年新春講演会・産学官交流会」の行事体制等について確認
- (11) 第 11 回 理事会(役員会) 2023-2-16(木) 16:00~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
 ・出席理事・監事:理事 17名(会場 3名, Web_14名)、監事 1名(Web_1名)
【議事】

- 1) 2023(令和 5)年度 理事会(役員会)の開催日程計画を承認
- 2) 2023 年度 NISA 研修の開催講座(25 講座)の詳細について承認

(12) 第 12 回 役員会 2023-3-23(木) 16:00~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)

・出席理事・監事:理事 18 名(会場 2 名, Web_16 名)、監事 2 名(Web_2 名)

【議事】

- 1) 2023 年度より入会金免除キャンペーンの廃止を承認
- 2) NISA 研修の開講基準を 5 名以上参加とすることを承認
- 3) (株) みんなシステムズと(株) Laytech の新規加入を承認